

Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E BTO サービスマニュアル

Version 1.2.0
2025/06/09

株式会社アットマークテクノ [<https://www.atmark-techno.com>]

Armadillo サイト [<https://armadillo.atmark-techno.com>]

Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E BTO サービスマニュアル

株式会社アットマークテクノ

製作著作 © 2023-2025 Atmark Techno, Inc.

Version 1.2.0
2025/06/09

目次

1. はじめに	7
2. BTO サービスのカスタマイズについて	8
2.1. カスタマイズの概要	8
2.2. カスタマイズ項目選択の流れ	8
3. 製品タイプの選択	10
3.1. Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E の製品タイプの選択	10
3.2. 最終形態	10
4. LTE モジュールの選択	12
4.1. LTE モジュール搭載の選択	12
4.2. LTE 用外付けアンテナの選択	12
4.3. LTE モジュールの選択による影響	12
5. WLAN+BT コンボモジュールの選択	14
5.1. WLAN+BT コンボモジュール搭載の選択	14
5.2. WLAN+BT 用基板アンテナの選択	14
6. ケースの選択	15
6.1. ケースの納品形態の選択	15
6.2. カバーパーツの納品形態の選択	15
6.3. カバーパーツの詳細	15
6.3.1. カバーパーツ A	17
6.3.2. カバーパーツ B	18
6.3.3. カバーパーツ C	18
6.3.4. カバーパーツ D	19
7. 実装部品の選択	20
7.1. タクトスイッチの部品選択	20
7.2. 拡張インターフェースの部品選択	20
8. ラベルのカスタマイズ	22
8.1. 製品ラベルのカスタマイズ	22
8.2. 製品ラベルの仕様	22
8.3. 製品ラベルの貼付位置	22
8.4. 製品ラベルの貼付方法	23
8.5. 製品ラベルの記載内容	23
8.6. 製品ラベルの記載内容カスタマイズ	24
9. 支給品の選択	26
9.1. お客様支給品の組付	26
9.1.1. RTC バックアップ電池	26
9.1.2. nanoSIM カード	26
9.1.3. microSD カード	26
9.2. 同梱印刷物	27
9.2.1. 同梱物の条件	27
10. 添付品の選択	28
10.1. AC アダプタ	28
11. ROM イメージ書込みの選択	29
11.1. ROM イメージの選択	29
11.2. 標準イメージ	29
11.3. 指定イメージ	29
12. 梱包形態の選択	30
12.1. 製品の梱包形態の選択	30
12.2. バルク梱包	30
12.2.1. バルク梱包(ケース組立)	30
12.2.2. バルク梱包(ケースなし)	30

12.3. リテール梱包	31
12.3.1. リテール梱包(ケース組立)	31
12.3.2. リテール梱包(ケースなし、ケース添付)	32
13. 製品保証の確認と選択	33
13.1. 製品保証範囲	33
13.2. 製品保証期間	33

目次

3.1. 標準タイプと +Di8+Ai4 タイプ の最終形態の例	11
6.1. 標準タイプのカバーパーツ	16
6.2. +Di8+Ai4 タイプのカバーパーツ	17
8.1. 製品ラベルの貼付位置(標準タイプ)	22
8.2. 製品ラベルの貼付位置(+Di8+Ai4 タイプ)	23
8.3. ラベルのカスタマイズ可能箇所	25
12.1. バルク梱包(ケース組立)の例	30
12.2. バルク梱包(ケースなし)の例	31
12.3. バルク梱包(ケースなし) +Di8+Ai4 タイプの例	31
12.4. リテール梱包(ケース組立)の例	32
12.5. リテール梱包(ケース添付) +Di8+Ai4 タイプの例	32

表目次

3.1. カスタマイズのベースとなる製品タイプの選択	10
4.1. LTE モジュール搭載の選択	12
4.2. LTE 用外付けアンテナの選択	12
4.3. LTE モジュールの選択による影響	13
5.1. WLAN + BT コンボモジュール搭載の選択	14
5.2. WLAN+BT 用基板アンテナの選択	14
6.1. ケースの納品形態の選択	15
6.2. カバーパーツの納品形態の選択	15
6.3. カバーパーツ A	18
6.4. カバーパーツ B	18
6.5. カバーパーツ C	18
6.6. カバーパーツ D	19
7.1. スイッチの高さの目安	20
7.2. タクトスイッチの部品選択	20
7.3. 拡張インターフェースの部品実装イメージ	21
7.4. 拡張インターフェースの部品選択	21
8.1. 製品ラベル 1 の仕様	22
8.2. 製品ラベル 2 の仕様	22
8.3. ラベルの選択	23
8.4. 製品ラベル 1 記載内容	24
8.5. 製品ラベル 2 記載内容	24
8.6. ラベルのカスタマイズ可能箇所	25
8.7. ラベルのカスタマイズ選択	25
9.1. RTC バックアップ電池の組付	26
9.2. nanoSIM カードの組付	26
9.3. microSD カードの組付	26
9.4. 同梱印刷物の選択	27
9.5. 同梱物の条件	27
10.1. AC アダプタの同梱	28
10.2. AC アダプタ詳細	28
11.1. ROM イメージ書込みの選択	29
12.1. 梱包形態の選択	30
13.1. 保証の選択	33

1. はじめに

このたびは Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E をご利用いただき、ありがとうございます。

本書には、Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E BTO サービスでカスタマイズ可能な項目の詳細について記載しています。Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E BTO サービスをお申し込みの際に、ご確認ください。

Armadillo BTO サービスのお申し込み (Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E)

https://www.atmark-techno.com/form_iot/bto-a6e

BTO サービスの共通事項については、「Armadillo BTO サービスマニュアル(各製品シリーズの共通事項)」に記載しています。

また、Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E の製品仕様については、「Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E 製品マニュアル」に記載しています。

本書とあわせてご確認ください。

Armadillo BTO サービスマニュアル (各製品シリーズの共通事項)

<https://armadillo.atmark-techno.com/bto/manual>

Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E 製品マニュアル

<https://armadillo.atmark-techno.com/resources/documents/armadillo-iot-a6e/manuals>

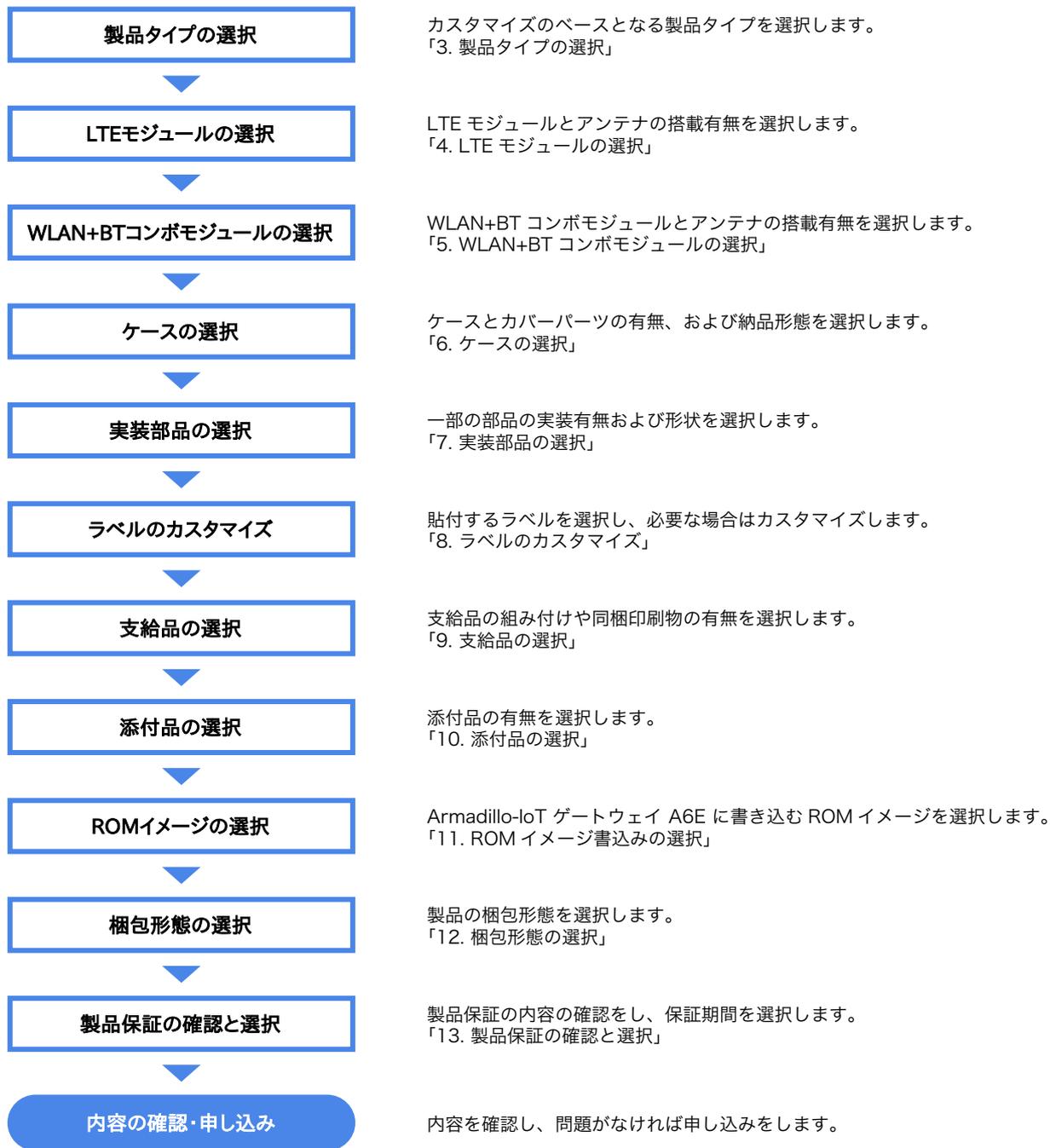
2. BTO サービスのカスタマイズについて

2.1. カスタマイズの概要

Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E BTO サービスでは Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E の製品タイプ、搭載通信モジュール、ケース、一部実装部品、ラベル、添付品、ROM イメージ、梱包形態、製品保証のカスタマイズが可能です。

2.2. カスタマイズ項目選択の流れ

カスタマイズ項目を選択する流れは以下のとおりです。本書はこの流れに沿って説明します。



3. 製品タイプの選択

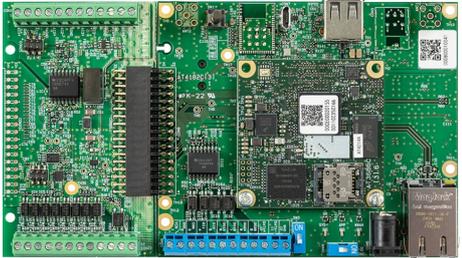
3.1. Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E の製品タイプの選択

カスタマイズのベースとなる Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E の製品タイプは 2 種類あります。

LAN、USB2.0、RS-485 シリアル通信(半二重)、接点入力 2ch、接点出力 2ch でインターフェースが足りている場合、または拡張インターフェース(CON8)を利用し、カスタム拡張基板で機能を追加する場合は、「標準タイプ」をベースにしてください。

LAN、USB2.0、RS-485 シリアル通信 (半二重)、接点入力 2ch、接点出力 2ch に加えて、アナログ入力 4ch と接点入力 8ch を追加する場合は、「+Di8+Ai4 タイプ」をベースにしてください。

表 3.1 カスタマイズのベースとなる製品タイプの選択

タイプ	外観	説明
標準		LAN、USB2.0、RS-485 シリアル通信(半二重)、接点入力 2ch、接点出力 2ch を備えています。 搭載通信モジュール、ケース、ラベル、実装部品、添付品、ROM イメージ、梱包形態、製品保証のカスタマイズが可能です。 拡張インターフェース(CON8)にピンヘッダを実装するカスタマイズにも対応しています。
+Di8+Ai4		LAN、USB2.0、RS-485 シリアル通信(半二重)、接点入力 2ch、接点出力 2ch に加え、アナログ入力 4ch と接点入力 8ch を備えています。 搭載通信モジュール、ケース、ラベル、実装部品、添付品、ROM イメージ、梱包形態、製品保証のカスタマイズが可能です。 拡張インターフェース(CON8)に+Di8+Ai4 拡張基板を接続しているため、カスタム拡張基板を接続することはできません。

3.2. 最終形態

「標準タイプ」をベースにした場合と「+Di8+Ai4 タイプ」をベースにした場合の、最終形態の例を「図 3.1. 標準タイプと +Di8+Ai4 タイプ の最終形態の例」に示します。

「+Di8+Ai4 タイプ」は、「標準タイプ」に比べて+Di8+Ai4 拡張基板の分だけ幅が広がります。



図 3.1 標準タイプと +Di8+Ai4 タイプ の最終形態の例



搭載する LTE モジュールによって、端子台の色や WLAN+BT コンボモジュールの搭載位置、WLAN+BT 用基板アンテナの形状が変わります。詳細については、「4.3. LTE モジュールの選択による影響」をご参照ください。

4. LTE モジュールの選択

4.1. LTE モジュール搭載の選択

Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E は、LTE 通信機能を追加できます。LTE モジュールの搭載有無および種類を選択してください。

表 4.1 LTE モジュール搭載の選択

選択項目	説明
なし	LTE モジュールを搭載しません。 LTE 通信機能が不要な場合にご利用ください。
Cat.1	Cat.1 モジュールを搭載します。 最もスタンダードな LTE モジュールです。 消費電力が高めですが、通信速度が速く、大容量データを送る用途に適しています。 Cat.1 モジュールで通信するには、LTE 用外付けアンテナが 2 本必要です。
Cat.1 bis	Cat.1 bis モジュールを搭載します。 Cat.1 モジュールとほぼ同等の速度性能をもち、消費電力がやや抑えられますが、電波条件が悪いと速度低下が発生する場合があります。 Cat.1 bis モジュールで通信するには、LTE 用外付けアンテナが 1 本必要です。
Cat.M1	Cat.M1 モジュールを搭載します。 バッテリー駆動を検討している場合や、コストを重視する場合にご利用ください。 通信速度が遅いため、センサー通信や位置情報などの小容量データを送る用途には問題ありませんが、大容量データを送る用途には不向きです。 Cat.M1 モジュールで通信するには、LTE 用外付けアンテナが 1 本必要です。 「Cat.M1」を選択すると、WLAN+BT コンボモジュールを搭載できません。

4.2. LTE 用外付けアンテナの選択

搭載する LTE モジュールによってアンテナの本数が変わります。LTE 用外付けアンテナの有無を選択してください。

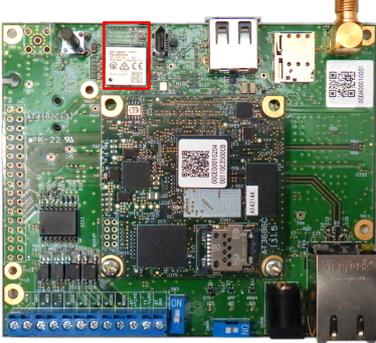
表 4.2 LTE 用外付けアンテナの選択

選択項目	説明
なし	LTE 用外付けアンテナを添付しません。 アンテナを別途手配する場合にご利用ください。 LTE モジュールを搭載しない場合は自動的に選択されます。
あり(1 本)	LTE 用外付けアンテナを 1 本添付します。 LTE モジュール「Cat.1 bis」「Cat.M1」を選択した場合に選択可能です。
あり(2 本)	LTE 用外付けアンテナを 2 本添付します。 LTE モジュール「Cat.1」を選択した場合に選択可能です。

4.3. LTE モジュールの選択による影響

LTE モジュールの選択は、WLAN+BT コンボモジュールの搭載位置、WLAN+BT 用基板アンテナの形状に影響します。

表 4.3 LTE モジュールの選択による影響

項目\LTE	なし/Cat.1/Cat.M1	Cat.1 bis
WLAN+BT コンボ モジュール		
アンテナ		

5. WLAN+BT コンボモジュールの選択

5.1. WLAN+BT コンボモジュール搭載の選択

Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E は、無線 LAN と Bluetooth®の通信機能を追加できます。WLAN +BT コンボモジュールの搭載有無を選択してください。

表 5.1 WLAN + BT コンボモジュール搭載の選択

選択項目	説明
なし	WLAN+BT コンボモジュールを搭載しません。 無線 LAN と Bluetooth®の通信機能が必要ない場合は、こちらを選択してください。
あり	WLAN+BT コンボモジュールを搭載します。WLAN+BT 用基板アンテナが付属します。 LTE モジュール「Cat.M1」を選択した場合、WLAN+BT コンボモジュールを搭載できません。

5.2. WLAN+BT 用基板アンテナの選択

WLAN+BT 用基板アンテナの有無は WLAN+BT コンボモジュールの搭載有無によって決まります。

表 5.2 WLAN+BT 用基板アンテナの選択

選択項目	説明
なし	WLAN+BT コンボモジュールを搭載しない場合、自動的に選択されます。
あり	WLAN+BT コンボモジュールを搭載する場合、自動的に選択されます。 ケース「組立」を選択した場合は、WLAN+BT 用基板アンテナを組み付けて納品します。 ケース「添付」「なし」を選択した場合は、WLAN+BT 用基板アンテナを添付して納品します。



WLAN+BT 用アンテナを組み付ける場合の注意

WLAN+BT コンボモジュールのアンテナコネクタは非常に小さく破損しやすい部品ですので、取り扱いには十分ご注意ください。製品マニュアルにアンテナの取り付け方法および取り外し方法について記載しておりますので、ご一読ください。

6. ケースの選択

6.1. ケースの納品形態の選択

ケースの納品形態は「なし」「添付」「組立」の3種類あります。

表 6.1 ケースの納品形態の選択

選択項目	説明
なし	ケースおよびカバーパーツを添付・組み付けせず、基板のみで納品します。ケース「なし」を選択した場合は、タクトスイッチの高さを選択可能です。また、ピンヘッド「ライトアングル」を選択可能です。
添付	ケースおよびカバーパーツ ^[a] を基板に組み付けず、添付して納品します。
組立	ケースと基板を組み付けて納品します。カバーパーツ ^[a] は添付か組立のいずれかを選択できます。

^[a]カバーパーツは、ケースの上面に取り付ける部品です。カバーパーツの詳細については、「6.3. カバーパーツの詳細」をご参照ください。

6.2. カバーパーツの納品形態の選択

ケース「組立」を選択した場合、カバーパーツを添付するか組み付けするかを選択可能です。

表 6.2 カバーパーツの納品形態の選択

選択項目	説明
添付	カバーパーツを添付して納品します。ケース「添付」を選択した場合、自動的に選択されます。
組立	カバーパーツをケースに組み付けて納品します。

6.3. カバーパーツの詳細

カバーパーツは、ケースの上面に取り付ける部品です。A、B、C、Dの4種類のカバーパーツがあります。カバーパーツ A、B は、LTE モジュールの選択によって穴の形状が変わります。「+Di8+Ai4 タイプ」の場合、カバーパーツ D の個数が3になります。

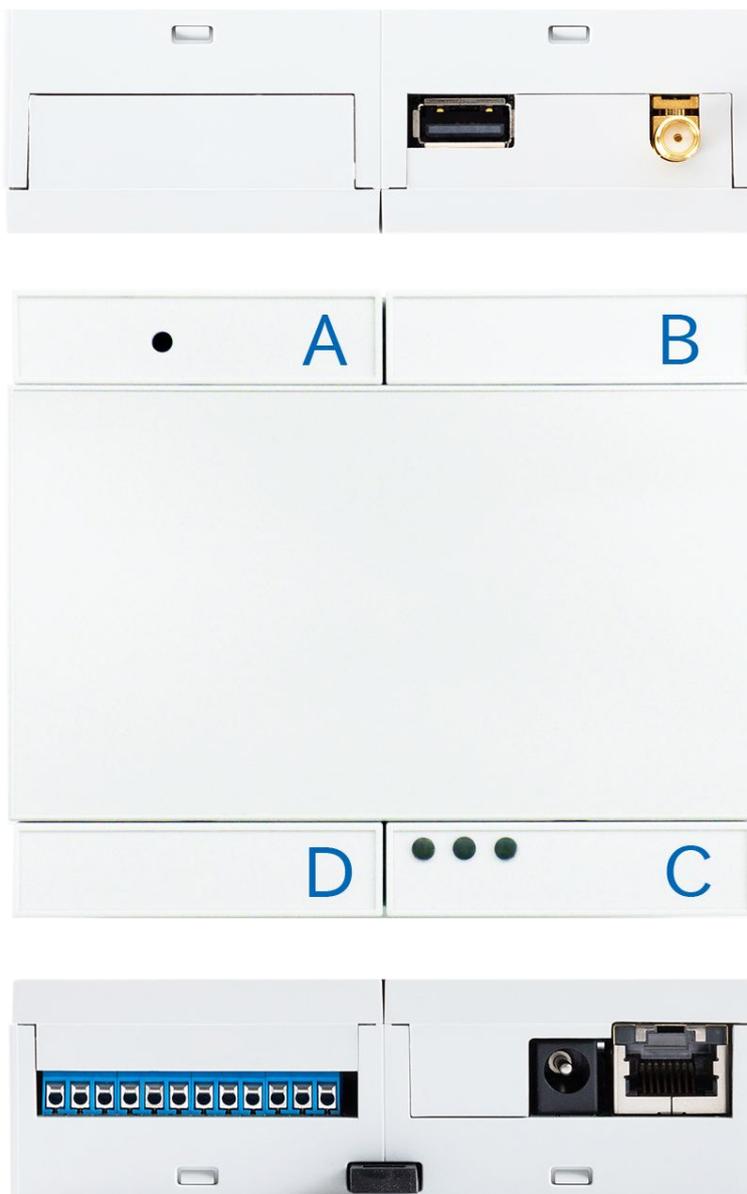


図 6.1 標準タイプのカバーパーツ

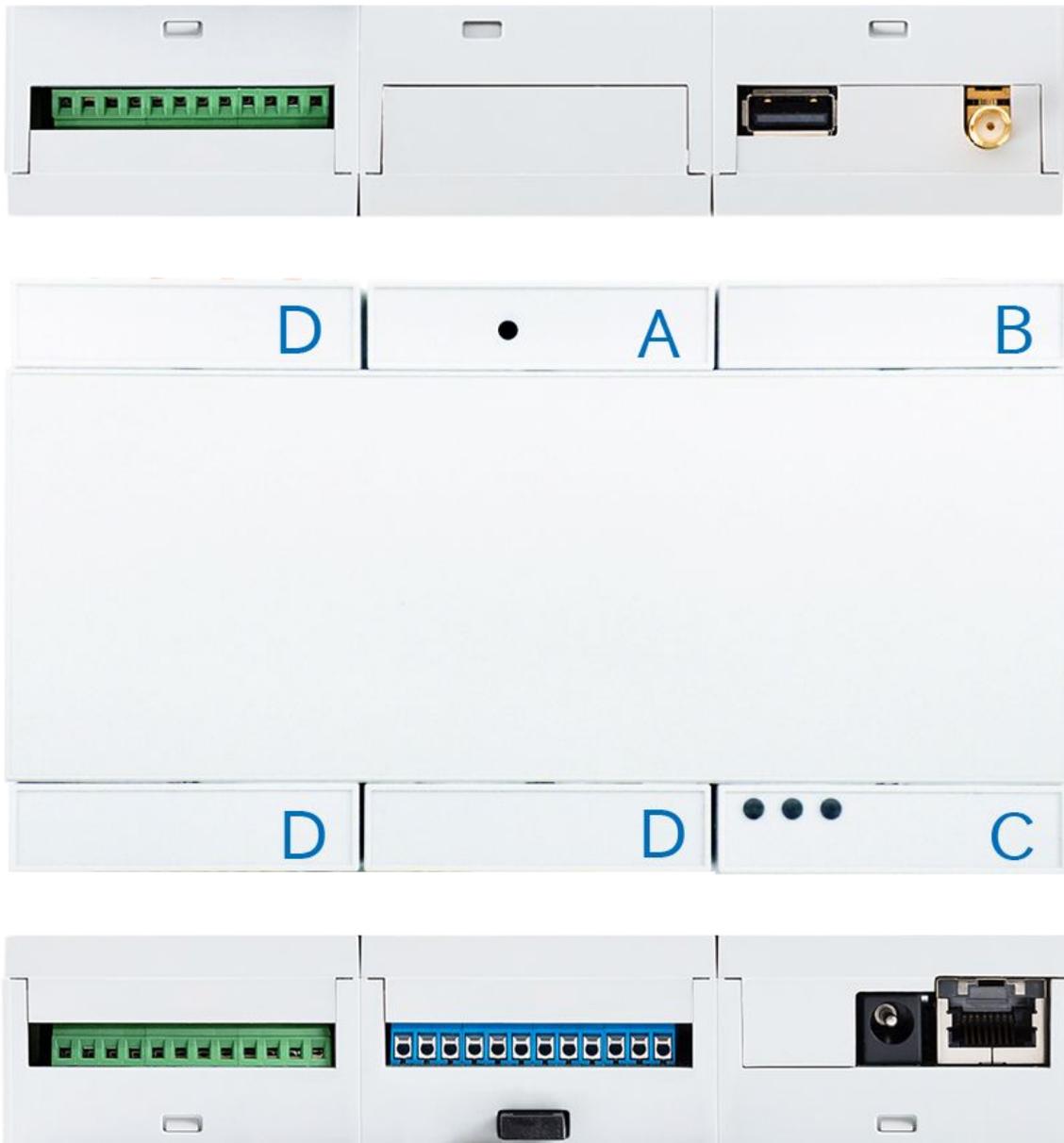


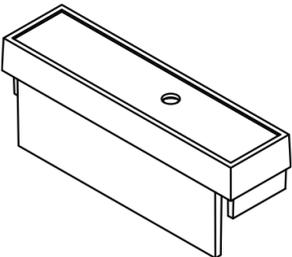
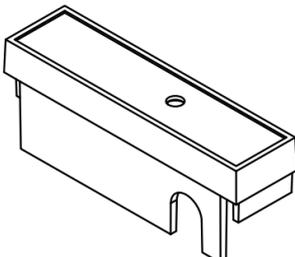
図 6.2 +Di8+Ai4 タイプのカバーパーツ

6.3.1. カバーパーツ A

カバーパーツ A の上面には、スイッチ用の穴があいています。側面の穴は、LTE モジュールの選択によって変わります。

LTE モジュール「Cat.1 bis」「Cat.M1」「なし」を選択した場合は、穴のないカバーパーツになります。LTE モジュール「Cat.1」を選択した場合は、アンテナコネクタ用の穴があいたカバーパーツになります。

表 6.3 カバーパーツ A

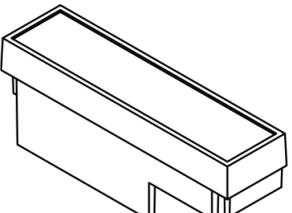
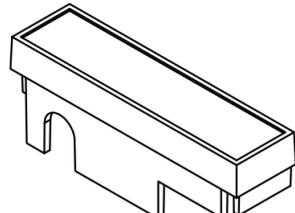
カバーパーツ A アンテナコネクタ用の穴なし	カバーパーツ A アンテナコネクタ用の穴あり
	

6.3.2. カバーパーツ B

カバーパーツ B の上面には、穴があいていません。側面の穴は、LTE モジュールの選択によって変わります。

LTE モジュール「なし」を選択した場合は、USB コネクタ用の穴があいたカバーパーツになります。LTE モジュール「Cat.1」「Cat.1 bis」「Cat.M1」を選択した場合は、USB コネクタとアンテナコネクタ用の穴があいたカバーパーツになります。

表 6.4 カバーパーツ B

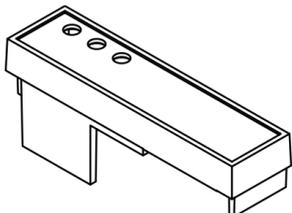
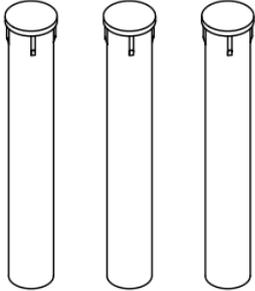
カバーパーツ B アンテナコネクタ用の穴なし	カバーパーツ B アンテナコネクタ用の穴あり
	

6.3.3. カバーパーツ C

カバーパーツ C の上面には、LED 用の穴が 3 つあいています。カバーパーツ「添付」を選択した場合は、LED 用のライトパイプは分解された状態で納品されますので、穴に挿してご利用ください。

側面には、電源コネクタと LAN コネクタ用の穴があいています。

表 6.5 カバーパーツ C

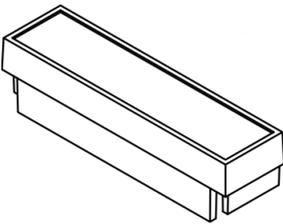
カバーパーツ C	ライトパイプ
	

6.3.4. カバーパーツ D

カバーパーツ D の上面には、穴があいていません。側面には端子台用の穴があいています。

「+Di8+Ai4 タイプ」の場合、カバーパーツ D の個数が 3 になります。

表 6.6 カバーパーツ D

カバーパーツ D


7. 実装部品の選択

7.1. タクトスイッチの部品選択

ケース「なし」を選択した場合、タクトスイッチ(SW1)の高さを選択できます。

標準では、ケースに入れた状態で押すことを考慮し、高さ 17mm のタクトスイッチを実装しています。ケースなしで使用する場合は、高くて押しにくいいため、高さ 4.3mm のスイッチを推奨します。

表 7.1 スイッチの高さの目安



表 7.2 タクトスイッチの部品選択

選択項目	説明
高さ 17mm(標準)	高さ 17mm のタクトスイッチを実装します。 ケース「組立」「添付」を選択した場合は、こちらのタクトスイッチを実装します。
高さ 4.3mm	高さ 4.3mm のタクトスイッチを実装します。 ケース「なし」を選択した場合に選択可能です。

7.2. 拡張インターフェースの部品選択

「標準タイプ」を選択した場合、拡張インターフェース(CON8)にピンヘッドを実装できます。機能拡張を行う場合は、ピンヘッドの実装を推奨します。

ピンヘッドは、ストレートとライトアングルの 2 種類から選択できます。ストレートを実装した場合は、基板の上面から垂直方向に拡張できます。ライトアングルを実装した場合は、基板の側面から水平方向に拡張できます。

ライトアングルを実装した場合は、標準ケースに収めることができません。BTO メニューにはありませんが、オプション品のロングタイプケース(OP-CASE6E-PLA-20)をご利用いただければ、ライトアングルを実装した状態でもケースに収めることができます。

表 7.3 拡張インターフェースの部品実装イメージ

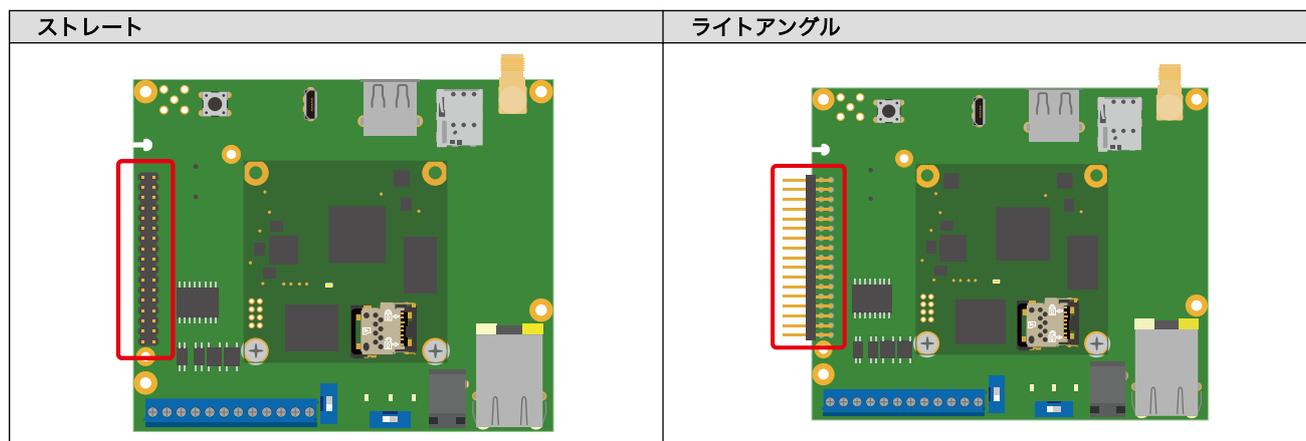


表 7.4 拡張インターフェースの部品選択

選択項目	説明
なし	ピンヘッダを実装しません。
ピンヘッダ(ストレート)	ピンヘッダ(ストレート)を実装します。
ピンヘッダ(ライトアングル)	ピンヘッダ(ライトアングル)を実装します。 ケース「なし」を選択した場合に選択可能です。

8. ラベルのカスタマイズ

8.1. 製品ラベルのカスタマイズ

製品ラベルの貼付方法および表示内容の簡単なカスタマイズが可能です。

8.2. 製品ラベルの仕様

「標準タイプ」を選択した場合は、製品ラベル 1 が追加されます。「+Di8+Ai4 タイプ」を選択した場合は、製品ラベル 1 と製品ラベル 2 が追加されます。

製品ラベルの仕様は以下のとおりです。

表 8.1 製品ラベル 1 の仕様

項目	説明
素材	PET(白)
サイズ	103×56mm

表 8.2 製品ラベル 2 の仕様

項目	説明
素材	PET(白)
サイズ	53×56mm

8.3. 製品ラベルの貼付位置

製品ラベルは、ケースの上面に貼付します。



図 8.1 製品ラベルの貼付位置(標準タイプ)



図 8.2 製品ラベルの貼付位置(+Di8+Ai4 タイプ)

8.4. 製品ラベルの貼付方法

製品ラベルの貼付方法の指定が可能です。ケースの納品形態の選択によって選択項目が変わります。

表 8.3 ラベルの選択

ケース	選択項目	説明
なし	なし	製品ラベルを添付および貼付しません。
	添付	標準デザインの製品ラベル 1 を添付します。 製品ラベル 2 がある場合、こちらも添付します。
	カスタマイズして添付	カスタマイズした製品ラベル 1 を添付します。 製品ラベル 2 がある場合、こちらも添付します。
組立	仮留め	標準デザインの製品ラベル 1 を、本体にマスキングテープで仮留めします。 製品ラベル 2 がある場合、こちらも仮留めします。
	カスタマイズして仮留め	カスタマイズした製品ラベル 1 を、本体にマスキングテープで仮留めします。 製品ラベル 2 がある場合、こちらも仮留めします。
	貼付	標準デザインの製品ラベル 1 を貼付します。 製品ラベル 2 がある場合、こちらも貼付します。 当社指定の位置に貼付し、位置の変更はできません。
	カスタマイズして貼付	カスタマイズした製品ラベル 1 を貼付します。 製品ラベル 2 がある場合、こちらも貼付します。 当社指定の位置に貼付し、位置の変更はできません。
添付	添付	標準デザインの製品ラベル 1 を添付します。 製品ラベル 2 がある場合、こちらも添付します。
	カスタマイズして添付	カスタマイズした製品ラベル 1 を添付します。 製品ラベル 2 がある場合、こちらも添付します。

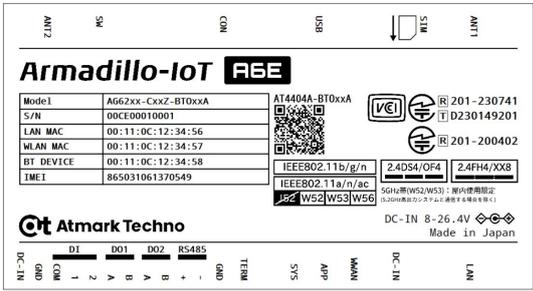


製品ラベルをカスタマイズする場合は、初期費用が追加となります。あらかじめご了承ください。

8.5. 製品ラベルの記載内容

標準デザインの製品ラベル 1 の記載内容を、「表 8.4. 製品ラベル 1 記載内容」に示します。

表 8.4 製品ラベル 1 記載内容

ラベル	記載内容
	<ul style="list-style-type: none"> 品名 型番 [a] 管理番号 [a] シリアルナンバー LAN MAC アドレス WLAN MAC アドレス [b] BT DEVICE アドレス [b] LTE IMEI 番号 [b] 各種認証マーク [c] VCCI マーク 社名ロゴ 二次元コード(シリアルナンバー、LAN MAC アドレス等の情報を含む)

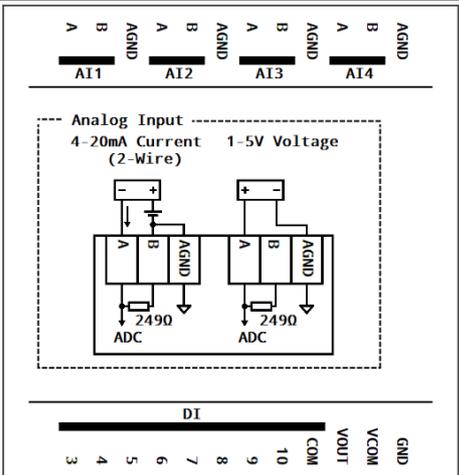
[a]型番はモジュールの有無などで変わります。管理番号は発注タイミングで変わります。

[b]非搭載の場合は空欄になります。

[c]非搭載の場合は削除されます。

製品ラベル 2 の記載内容を、「表 8.5. 製品ラベル 2 記載内容」に示します。

表 8.5 製品ラベル 2 記載内容

ラベル	記載内容
	<p>アナログ入力の接続例が記載されます。</p>

8.6. 製品ラベルの記載内容カスタマイズ

製品ラベル 1 は記載内容をカスタマイズできます。カスタマイズ可能箇所については、「表 8.6. ラベルのカスタマイズ可能箇所」をご参照ください。

製品ラベル 2 は、アナログ入力の接続例が記載され、カスタマイズ対応していません。

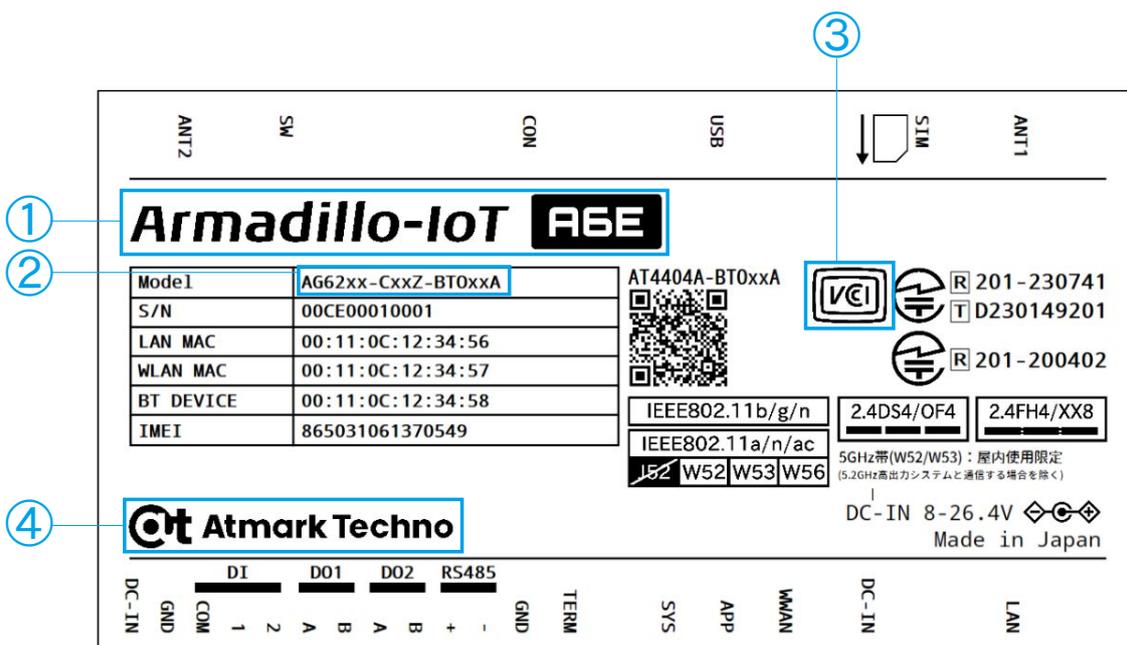


図 8.3 ラベルのカスタマイズ可能箇所

表 8.6 ラベルのカスタマイズ可能箇所

番号	項目	仕様	説明
①	品名	<ul style="list-style-type: none"> ・フォント：源柔ゴシック 中 ・サイズ: 10pt ・記載幅: 52.5mm 	製品名を表示するためのスペースです。
②	型番	<ul style="list-style-type: none"> ・フォント：Droid Sans Mono ・サイズ: 5pt ・記載幅: 30.25mm 	型番を表示するためのスペースです。
③	VCCI マーク	-	VCCI マークを表示するためのスペースです。ラベルをカスタマイズした場合、VCCI マークは削除されます。
④	社名	<ul style="list-style-type: none"> ・フォント：源柔ゴシック 中 ・サイズ：10pt ・記載幅 33mm 	社名を表示するためのスペースです。ラベルをカスタマイズした場合、弊社ロゴは削除されます。

表 8.7 ラベルのカスタマイズ選択

項目	選択項目	印字内容
品名	デフォルト	「Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E」が印字されます。
	自由入力	印字希望の文字列を入力してください。 (参考文字数: 半角 23 文字) ^[a]
型番	デフォルト	弊社指定の型番が印字されます。型番はモジュールの有無などで変わります。
	自由入力	印字希望の文字列を入力してください。 (参考文字数: 半角 25 文字) ^[a]
社名	社名を入れない	何も印字しません。
	自由入力	印字希望の文字列を入力してください。 (参考文字数: 半角 21 文字) ^[a]

^[a]印字する内容によっては、フォントサイズが小さくなる場合があります。印字できる文字数は、原稿内容により異なります。詳細はご相談ください。

9. 支給品の選択

9.1. お客様支給品の組付

Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E 向け BTO サービスでは、以下の支給品の組み付けに対応しています。

- ・ RTC バックアップ電池
- ・ nanoSIM カード
- ・ microSD カード



お客様支給品の組み付けをご希望の場合は、必ず「Armadillo BTO サービスマニュアル(各製品シリーズの共通事項)」 [<https://armadillo.atmark-techno.com/bto/manual>]の「お客様支給品の組み付け」の内容と注意事項をよくお読みになり、ご納得のうえでお申し込みください。

9.1.1. RTC バックアップ電池

お客様から支給されたバックアップ電池の組み付けに対応しています。

表 9.1 RTC バックアップ電池の組付

選択項目	説明
なし	バックアップ電池の組み付けが不要な場合は「なし」を選択してください。
支給品	電池ボックス(CON10)にバックアップ電池を組み付けます。 1220 サイズのコイン型リチウム電池(CR1220 など)をご支給ください。

9.1.2. nanoSIM カード

LTE モジュールを搭載する場合、お客様から支給された nanoSIM カードの組み付けに対応しています。

表 9.2 nanoSIM カードの組付

選択項目	説明
なし	nanoSIM カードの組み付けが不要な場合は「なし」を選択してください。
支給品	nanoSIM スロット(CON3)に nanoSIM カードを挿入します。 nanoSIM カードをご支給ください。

9.1.3. microSD カード

お客様から支給された microSD カードの組み付けに対応しています。

表 9.3 microSD カードの組付

選択項目	説明
なし	microSD カードの組み付けが不要な場合は「なし」を選択してください。
支給品	microSD スロット(CON1)に microSD カードを挿入します。 microSD カードへのデータ書き込みは弊社ではお受けできません。 書き込み済みの microSD カードをご支給ください。

9.2. 同梱印刷物

梱包形態「リテール梱包」を選択した場合は、梱包箱にチラシや説明書などの印刷物を同梱できます。

表 9.4 同梱印刷物の選択

選択項目	説明
なし	同梱印刷物がない場合は「なし」を選択してください。
支給品	「9.2.1. 同梱物の条件」をご確認のうえ、同梱印刷物をご支給ください。



同梱印刷物は、お客様支給品と同様の扱いとなります。ご希望の場合は「Armadillo BTO サービスマニュアル(各製品シリーズの共通事項)」[<https://armadillo.atmark-techno.com/bto/manual>]の「お客様支給品の組み付け」の内容と注意事項をよくお読みになり、ご納得のうえでお申し込みください。

9.2.1. 同梱物の条件

同梱できる印刷物には、以下の制限があります。

表 9.5 同梱物の条件

項目	説明
サイズ	A6 サイズ (A4 サイズ 4 つ折り) ^[a]
連量	90 キロ程度 (四六判の上質紙) ^[b]
同梱可能点数	5 点まで

^[a]A4 サイズの用紙を同梱する場合は、あらかじめ A6 サイズ(4 つ折り)に折りをいれた上でご支給ください。

^[b]四六判の上質紙(一般的なコピー用紙)で想定しています。厚手の用紙をご利用の場合は、ご相談ください。

10. 添付品の選択

10.1. AC アダプタ

Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E を動作させるのに必要な、AC アダプタを同梱できます。

表 10.1 AC アダプタの同梱

選択項目	説明
なし	AC アダプタの同梱が不要な場合は「なし」を選択してください。
OP-AC12V4-00	Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E の標準 AC アダプタを同梱します。

AC アダプタの詳細について、「表 10.2. AC アダプタ詳細」に示します。

表 10.2 AC アダプタ詳細

型番	製品名	URL
OP-AC12V4-00	AC アダプタ(12V/2.0A φ2.1mm) 温度拡張品 効率レベル VI 品	https://armadillo.atmark-techno.com/ option-products/OP-AC12V4-00

11. ROM イメージ書込みの選択

11.1. ROM イメージの選択

Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E のフラッシュメモリに書き込むイメージファイルは、標準イメージと指定イメージから選択できます。

表 11.1 ROM イメージ書込みの選択

選択項目	説明
標準イメージ	弊社の標準出荷イメージファイル(製造時点で最新のもの)を書き込みます。納品後、お客様側でイメージを書き換えてご使用ください。
指定イメージ	お客様ご指定のイメージファイルを書き込みます。指定イメージの作成方法、送付方法については、「11.3. 指定イメージ」をご確認ください。

11.2. 標準イメージ

「標準イメージ」を選択した場合は、弊社の標準出荷イメージファイル(製造時点で最新のもの)を書き込みます。



弊社の標準イメージファイルであっても、イメージファイルのバージョン指定には対応できません。バージョンを指定したい場合は、「指定イメージ」を選択してください。

11.3. 指定イメージ

「指定イメージ」を選択した場合は、お客様ご指定のイメージファイルを書き込みます。指定イメージの作成方法、送付方法については、以下をご確認ください。

[Howto] Armadillo BTO サービス: ROM イメージの作成方法 (Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E)

https://armadillo.atmark-techno.com/howto/bto/manual/a6e_rom-image

12. 梱包形態の選択

12.1. 製品の梱包形態の選択

製品の梱包形態はバルク梱包とリテール梱包の2種類あります。

表 12.1 梱包形態の選択

選択項目	説明
バルク梱包	袋詰めした製品をダンボール箱に詰めて納品します。 納品後に組立作業がある場合や、お客様側で個装箱を準備する場合などにご利用ください。
リテール梱包	袋詰めした製品を個装箱に入れ、ダンボール箱に詰めて納品します。 そのまま最終製品として出荷する場合などにご利用ください。

12.2. バルク梱包

12.2.1. バルク梱包(ケース組立)

本体①をエアキャップ袋に梱包し、段ボール箱②に詰めます。添付品を空きスペース③、または別箱に詰めて納品します。



図 12.1 バルク梱包(ケース組立)の例

12.2.2. バルク梱包(ケースなし)

本体①をエアキャップ袋、静電防止袋の順に梱包し、段ボール箱②に詰めて納品します。



図 12.2 バルク梱包(ケースなし)の例

+Di8+Ai4 タイプの場合は、本体(①)と+Di8+Ai4 拡張基板(②)をそれぞれエアキャップ袋、静電防止袋(③)(④)の順に梱包し、それぞれ別の段ボール箱(⑤)(⑥)に詰めて納品します。



図 12.3 バルク梱包(ケースなし) +Di8+Ai4 タイプの例

12.3. リテール梱包

12.3.1. リテール梱包(ケース組立)

本体をエアキャップ袋に梱包し、同梱品と合わせて無地のフリーボックスに詰めます(①)。空きスペースには緩衝材を入れます。フリーボックスの蓋はセロハンテープで留め、側面にシリアル番号などを記載したシールを貼付します(②)。フリーボックスを、段ボールに詰めて納品します。



図 12.4 リテール梱包(ケース組立)の例

12.3.2. リテール梱包(ケースなし、ケース添付)

本体をエアキャップ袋、静電防止袋の順に梱包します。+Di8+Ai4 タイプの場合は、本体(1)と+Di8+Ai4 拡張基板(2)をそれぞれエアキャップ袋に入れ、それらを1つの静電防止袋に梱包します(3)。同梱品と合わせて無地のフリーボックスに詰めます(4)。ケース添付の場合は、フリーボックスの中にケースを先に入れ、その上に基板を載せます。空きスペースには緩衝材を入れます。フリーボックスの蓋はセロハンテープで留め、側面にシリアル番号などを記載したシールを貼付します(5)。フリーボックスを、段ボールに詰めて納品します。

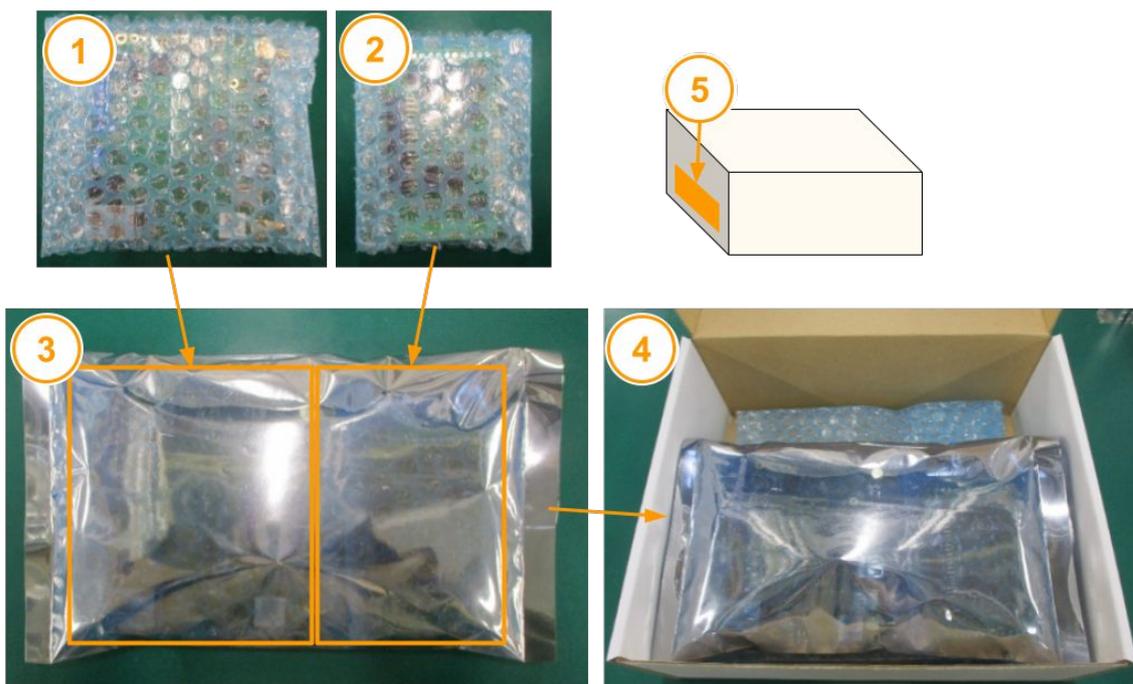


図 12.5 リテール梱包(ケース添付) +Di8+Ai4 タイプの例

13. 製品保証の確認と選択

13.1. 製品保証範囲

「Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E」の製品保証範囲は以下のとおりです。

- ・ Armadillo-IoT ゲートウェイ A6E 本体
- ・ AC アダプタ (12V/2.0A φ2.1mm) 標準品
- ・ LTE 用外付けアンテナ
- ・ WLAN/BT 用基板アンテナ



ケースの破損・汚れ等は保証対象外です。ケースの傷やヒビ割れなどの破損については、初期不良(納品から 2 週間以内)交換のみ受け付けております。



製品保証の詳細については、「Armadillo BTO サービスマニュアル（各製品シリーズの共通事項） [<https://armadillo.atmark-techno.com/bto/manual>]

の「製品保証」の項目をご確認ください。

13.2. 製品保証期間

保証期間を選択してください。標準の保証期間は 1 年です。

表 13.1 保証の選択

選択項目
1 年 (標準)
2 年 (価格+4%)
3 年 (価格+8%)

改訂履歴

バージョン	年月日	改訂内容
1.1.0	2023/11/28	・ Di8+Ai4 タイプを追加
1.1.1	2024/07/24	・ 「表 8.6. ラベルのカスタマイズ可能箇所」内、VCCI マークは「カスタマイズして添付」を選択した場合でも付与されないことを追記
1.1.2	2024/11/27	・ カスタマイズ項目「WLAN+BT コンボモジュール」に「WLAN+BT 用アンテナを組み付ける場合の注意」を追記
1.2.0	2025/06/09	・ LTE モジュール「Cat.1bis」の選択に対応 ・ 章構成の変更

